

News Letter

ニュースレター



2023年11月21日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～NSSホールディングス株式会社のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、NSSホールディングス株式会社（代表取締役 米田 泰三）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 契約締結日 2023年10月12日（木）
2. 融資金額 200百万円
3. モニタリング期間 5年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

6. NSSホールディングス株式会社の概要

代 表 者	米田 泰三
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目 8 番地 1 号 住友不動産新宿オークタワー21階
業 種	法人向けソリューション事業
設立年月日	2007年1月4日

<記念盾贈呈式の様子>



NSSホールディングス株式会社
代表取締役 米田 泰三 氏

株式会社名古屋銀行
枇杷島通支店長 平井 昭臣

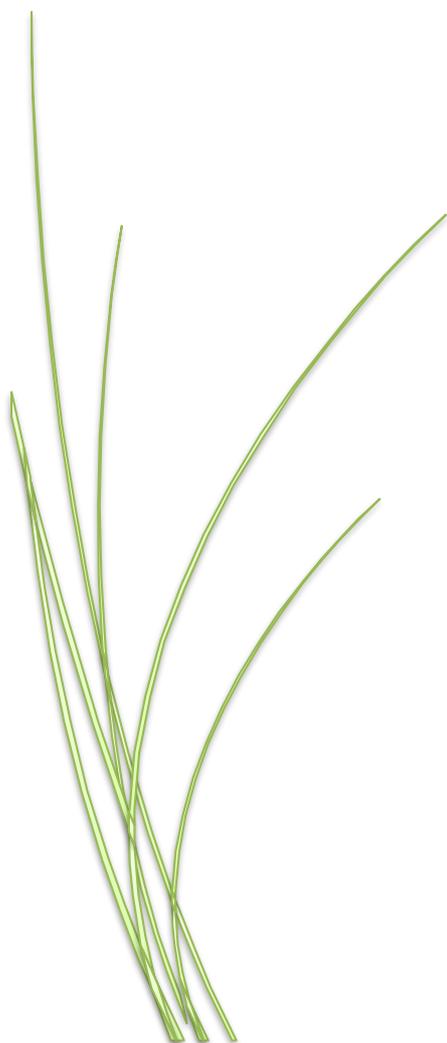
参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf

以上

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～ NSSホールディングス株式会社 ～



2023年10月12日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、NSSホールディングス株式会社に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎんPIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FIという。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、NSSホールディングス株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けたKPIを設定した。

借入人概要

借入企業	NSSホールディングス株式会社
所在地	東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー21階
従業員	172名 ※2023年6月末時点
事業内容	ISOサポート事業、クラウドコミュニケーション事業、法人向けソリューション事業、Webマーケティング事業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	200,000,000円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5年

目次

1. 企業情報	3
2. 事業内容	8
①概要	
②主な事業内容	
3. その他の取組	11
①人材育成	
②女性活躍	
③情報セキュリティ	
4. インパクトの特定	14
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	20
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	22
7. モニタリング方法	22
8. 総括	22

1. 企業情報



① 会社概要

会社名	NSSホールディングス株式会社
設立年月日	2007年1月4日
代表取締役社長	米田 泰三
本店所在地	東京都新宿区西新宿 6-8-1 住友不動産新宿オークタワー21階
従業員数	172名 ※2023年6月末時点
決算日	9月30日
資本金	50百万円
直近売上高	1,133百万円（2022年9月期）
グループ企業一覧	NSSエナジーソリューション株式会社 NSSマーケティング株式会社 NSSスマートコンサルティング株式会社 NSSライトプロモーション株式会社

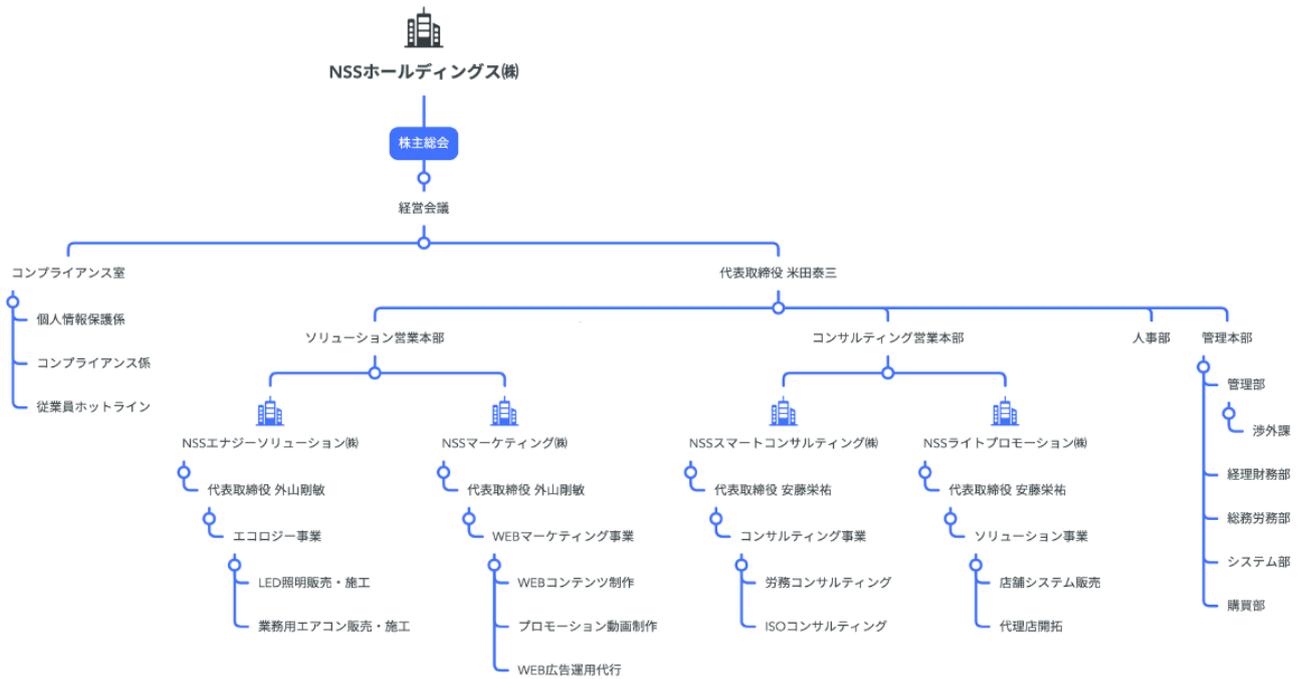


② 沿革

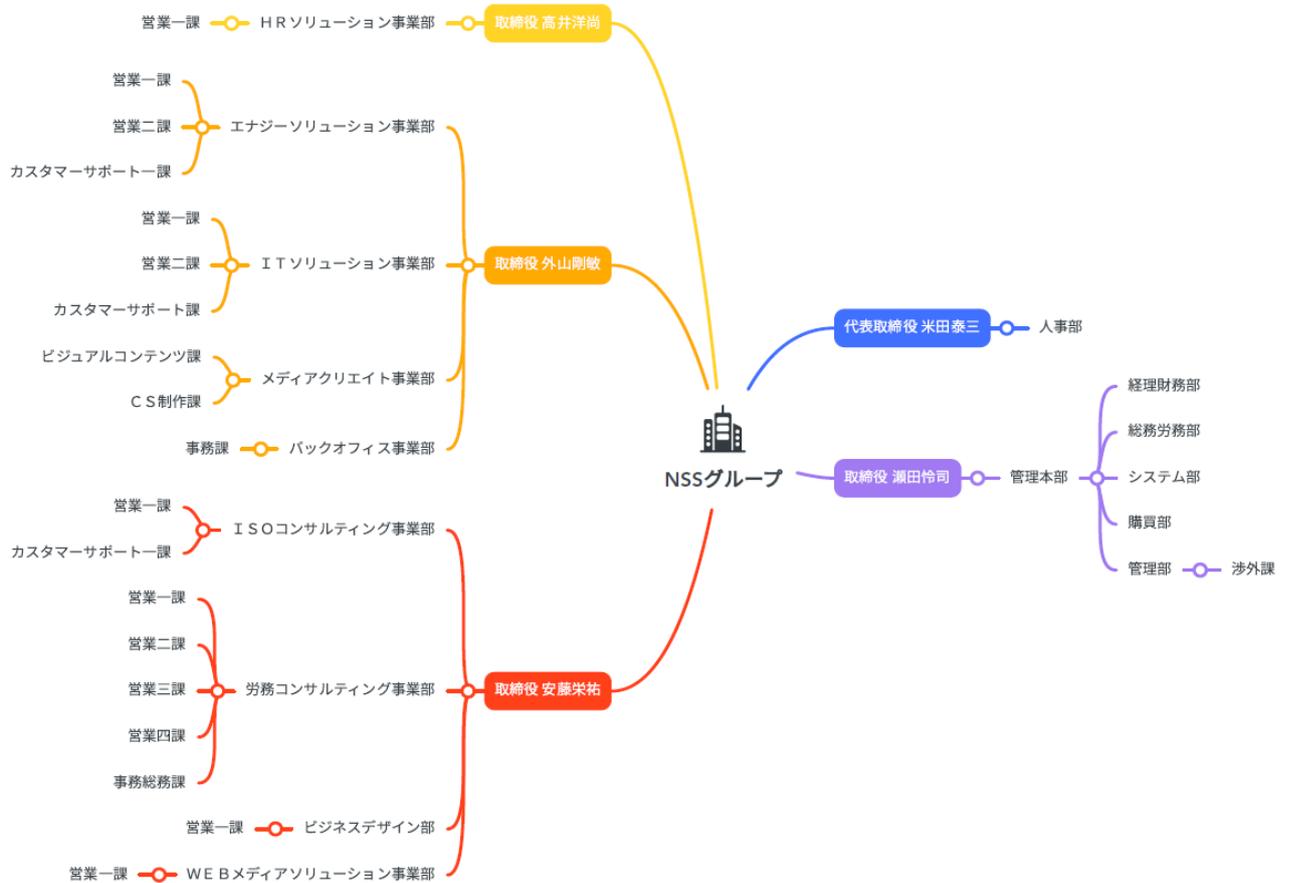
2007年（平成19年）	<ul style="list-style-type: none"> ●愛知県名古屋市中区丸の内1丁目にて創業 <p>中小企業向けに、企業のブランディング為のWEBサイト制作や、インターネット回線に関するコンサルティングを中心に事業を展開する。</p>
2008年（平成20年）	<ul style="list-style-type: none"> ●本店を愛知県名古屋市中区栄1丁目に移転
2009年（平成21年）	<ul style="list-style-type: none"> ●コールセンターを愛知県名古屋市中区丸の内3丁目に開設
2010年（平成22年）	<ul style="list-style-type: none"> ●本店を愛知県名古屋市東区東桜1丁目に移転 ●東京支店を開設
2011年（平成23年）	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪支店を開設
2012年（平成24年）	<ul style="list-style-type: none"> ●本店を愛知県名古屋市中村区名駅2丁目に移転
2013年（平成25年）	<ul style="list-style-type: none"> ●仙台支店、金沢支店、福岡支店を開設
2014年（平成26年）	<ul style="list-style-type: none"> ●札幌支店、埼玉支店、横浜支店、広島支店を開設 ●ISOサポート事業を開始 ●本店を愛知県名古屋市中区丸の内3丁目に移転
2015年（平成27年）	<ul style="list-style-type: none"> ●仙台支店、札幌支店、埼玉支店、横浜支店を東京支店に統合 ●金沢支店を、名古屋支店に統合 ●広島支店を大阪支店に統合 ●資本金を5,000万円に増資 ●コールセンター電話システム「クラウドコールセンターシステムプロ」販売開始 ●法人向けソリューション事業を開始
2016年（平成28年）	<ul style="list-style-type: none"> ●ISO27001の認証取得 ●B. LEAGUEの名古屋ダイヤモンドドルフィンズとオフィシャルパートナー契約を締結 ●NSSエナジーソリューション株式会社を設立（100%子会社） ●NSSマーケティング株式会社を設立（100%子会社） ●NSSスマートコンサルティング株式会社を設立（100%子会社）

-
- | | |
|--------------|------------------------|
| 2017年（平成29年） | ●オンライン商談ツール「オントーク」販売開始 |
|--------------|------------------------|
-
- | | |
|--------------|-------------------|
| 2018年（平成30年） | ●パートナー企業との開拓・提携開始 |
|--------------|-------------------|
-
- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 2019年（平成31年/令和元年） | ●プライバシーマークを取得 |
| | ●グループ内の部門再編成 |
| | ●GoogleMap検索エンジン適正化サービス「ME0ネオ」販売開始 |
-
- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 2020年（令和2年） | ●NSSライトプロモーション株式会社を設立（100%子会社） |
| | ●食料品管理システム「HACCPクラウド」販売開始 |
-
- | | |
|-------------|---------------------------|
| 2021年（令和3年） | ●短期成長プロジェクトの開始 |
| | ●長期マネージャー研修の開始 |
| | ●助成金診断支援システム「moraeru」販売開始 |
-
- | | |
|-------------|---|
| 2022年（令和4年） | ●新宿支店、東新宿支店、西新宿支店、御成門支店を本店に統合し、本店を東京都新宿区へ移転 |
| | ●助成金診断システム「sagaseru」販売開始 |
-
- | | |
|-------------|-----------|
| 2023年（令和5年） | ●名古屋支店を移転 |
| | ●広島営業所を開設 |
-

③ 事業系統図



④ グループ組織図



⑤ 経営理念

MANAGEMENT PHILOSOPHY

経営理念

あきらめない あきらめない

Never give up & Never get tired

どんなときも課題や壁は必ずやってくる。けれどもわたしたちは必ず乗り越える。絶対にあきらめない。
常にお客様目線に立ち 今できる最善を尽くす。本気の取り組みは必ず伝わる日が来る。
わたしたちは常に本気だからいつまでもあきらめない。

● VISION ビジョン

『可能性の追求と価値の提供』

わたしたちは社会の中でこれからどんなことができるのだろうか。常に社会の進化のために貢献できる可能性を追求する。世の中に価値を提供し続ける。可能性は無限にある。限界はない。

● MISSION STATEMENT 行動指針

『可能性を追求する』 何度失敗しても成功するまで物事を追及することが大切です。

『あきらめない』 可能性がある限りわたしたちは絶対にあきらめません。

『常に本気で挑戦する』 いかなる時もわたしたちは本気で挑戦し続けます。

『社会に価値を提供する』 わたしたちは自分たちが社会のために提供できる価値を考え続けます。

当社は、法人企業・個人事業主に向けた各種ソリューションを通じて国内エンドユーザーの利用環境を最適化することを事業としており、具体的には無駄なコスト削減・最適化から売上の向上支援、更には ISO 等の認証規格の取得から運用のサポートと幅広く事業展開を行っている。

当社の活動を通じて、企業のコスト改善が最適化され、新しい設備投資が進み、そして顧客企業が成長していくことが、日本経済を活性化する良好な循環を生み出すことに繋がるものと考えており、そのためにも常に挑戦し続ける精神を忘れることなく、時代の変化に臨機応変に対応し、顧客の期待と笑顔に応えるべく、上記経営理念・ビジョン・行動指針を掲げ日々の業務に努めている。

2. 事業内容

① 概要

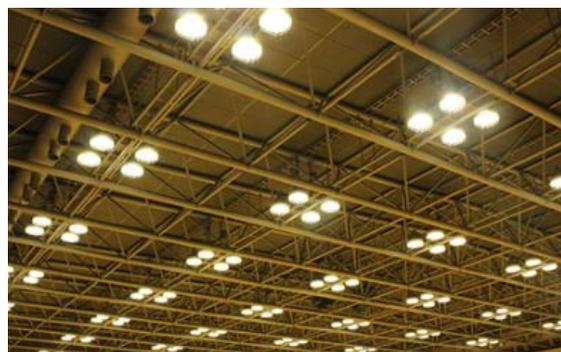


当グループは、主に中小企業を中心にコスト削減や集客支援、労務コンサルティング、ISO認証取得支援、組織力強化のための研修実施など、幅広い事業を通して顧客課題を解決し、企業の成長を支援している。

「NSSホールディングス」が親会社、「NSSエナジーソリューション株式会社」「NSSマーケティング株式会社」「NSSスマートコンサルティング株式会社」「NSSライトプロモーション株式会社」が100%子会社というかたちでグループは構成されており、子会社の4社は各事業の実働部隊となっている。グループ間がしっかりと連動してトータルサポートを提案し、大きな相乗効果を創出している点が当グループ最大の強みである。

② 主な事業内容

(1) エネルギーソリューション事業【NSSエナジーソリューション株式会社】



現代企業に求められている節電対策とコスト削減の両立という課題に対し、日本国内で事業展開する企業へLED照明の導入のトータルサポートを行う。

顧客のコスト削減をシュミレーションし、専門技術者の丁寧な施工によるスムーズな導入がなされるまでを支援しており、LED照明器具は3000種類以上のラインナップを取り揃えるとともに、灯具を利用した提案も合わせて行うことで、照明の明るさを確保しながらも、消費電力が抑制されるような最適なかたちを提供している。

また、実際の施工部分に関しても、30社以上に及ぶ協力工事会社とのコネクションにより、顧客の要望する範囲・コストにて柔軟に対応が可能である。

(2) オウンドメディア事業【N S Sマーケティング株式会社】



当社が提供するオウンドメディアは、マス広告では不可能だった「顧客ニーズに合わせた直接的なフロー」を構築し、それぞれの顧客層に対してダイレクトな情報伝達経路を創り上げることが可能である。店舗が伝えたいことを適切に伝えられるよう CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）を活用し、テキストや画像の差し替えだけでメディアの情報を更新できる環境を構築することで、更新に時間をかけずに情報を反映できるだけでなく、余計なコストを支払うことなく簡単・スムーズな運営を実現させる。

また、ターゲット層にアプローチする際に、これまでであれば自社で様々なデータを取得して蓄積する必要があったが、当社が提供するサービスは既に年齢や性別を判別できているビッグデータを元に提供するため、高い精度で高効率なマーケティングを実施することが可能である。

さらに、自社内に Web デザイナーやカメラマンも在籍しているため、短期間で成果物が出来上がる点も特長の一つだと言える。

(3) 店舗集客支援コンサルティング【N S Sマーケティング株式会社】



SEO 対策、LP 構築、PPC 広告など、通算 100 社以上のマーケティング支援の経験をもとに安定的に見込み客を集めるマーケティングの仕組み構築を支援している。

自社のプロダクトの整理や課題の洗い出し、明確化をすることから始め、初期段階で方向性をしっかり絞ることで高い費用対効果が得られるような土台を作った上で、マーケティングファネルの検討、リード獲得コンテンツの構築を行い、SEO 対策、PPC 広告、オウンドメディア、LP、等から最適なものを選択し、しっかりと見込み客を集めてゆく仕組みを構築している。

(4) ISO 認証コンサルティング事業【N S Sスマートコンサルティング株式会社】



- 👑 マネジメント層以上が選ぶ ISOコンサル会社 **No.1**
- 👑 企業からの信頼度が高い ISOコンサル会社 **No.1**
- 👑 企業に合わせたISO取得に強い ISOコンサル会社 **No.1**



日本マーケティングリサーチ機構調べ
調査期間：2020年4月～5月 調査対象：ISO取得企業

各種 ISO の取得、P マークなどの面倒な更新や運用のサポートサービスを提供するためのサイト「ISOプロ」を運営している。

ISO プロには、ISO 審査員資格保持者や各業界を長年経験してきたコンサルタントが多く在籍しており、一般的に取得傾向が高い製造業や建設業だけでなく、IT や食品など多くの業種に対応可能な体制を整えている。

サイトを通じて契約に至ったコンサルタントは、顧客の専任コンサルとして、取得までのスケジュールなども分かりやすく、明確に伝えるとともに、「まずは取得だけしたい」「社員教育したい」「早く取得したい」など各種要望に合わせたサポートを行うことも可能である。

また、すでにスキル・実績のあるコンサルタントを採用しているため、教育コストなどを抑えることで低価格で高品質なサービス提供が行え、顧客のコストを抑制した「事業が成長する ISO」の構築を実現しており、運用サポート実績は 1500 件以上に及んでいる。

(5) 労務コンサルティング事業【N S Sスマートコンサルティング株式会社】



助成金を受給しながら、労務関連の整備を行い、雇用や人材育成の制度を充実させていきたいと考えている企業を支援するサイト「Find up 助成金」「moraeru」を運営し、サイトからの相談・申請を経て契約に至った企業に対してコンサルティングサービスも提供している。

3000 種類以上あると言われている助成金の中から、自社に最適な助成金を見つけ出し、不備なく申請し、受給するまでをサポートするとともに、労務面における課題を抽出し、解決策を提案することで顧客従業員の方々がより働きやすい企業となるよう支援する。

(6) 研修エンパワーメント事業【NSSライトプロモーション株式会社】



過去に開催された研修

開催月	研修テーマ	定員人数
06/26(月)～06/27(水)	不動産業界の特色を理解した次世代リーダー研修 (計2日間、合計10時間実施)	5名参加
06/22(木)～06/23(金)	住宅リフォーム業界向けカスタマーサポート向上研修 (計2日間、合計10時間実施)	7名参加
06/20(火)～06/22(水)	製造業におけるDXツール活用研修 (計3日間、合計12時間実施)	5名参加
06/15(火)～06/21(水)	管理者が学ぶ、アンガーマネジメント研修 (計2日間、合計7時間実施)	11名参加
06/12(月)～06/13(火)	美容業界におけるコミュニケーションアップ研修 (計2日間、合計10時間実施)	8名参加

当社は、組織力強化のための専門講師派遣を核とした研修エンパワーメント事業を展開している。最先端のDX研修を最小限のコストで実現する等、多様なカリキュラムから企業毎の課題や要望に合わせた研修をカスタマイズする事で、企業の成長を支援している。

3. その他の取組

① 人材育成



【社内勉強会】



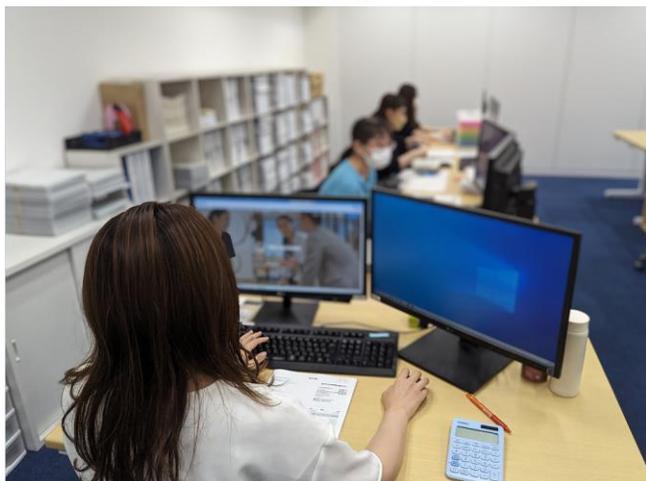
【表彰式】

人材育成面においては、週に1回の定期的な社内研修・勉強会を実施し、チームビルディングや効果的なOJT、ビジネスマナーに至るまで、時には外部講師を招いての実践的な研修も展開されており、個人の能力および組織力強化が図られている。勉強会では管理職とともに個人目標を設定し、定期的に進捗の共有と相談する機会を設ける制度を実施しており、コミュニケーションを図りながら従業員が具体的な助言のもと、着実に成長ができる仕組みづくりが成されている。

また、従業員一人当たりの生産性を数値として従業員全員に公表しており、これも他社員や過去推移と比較することで自身の成長が分かりやすくなるとともに、企業側が従業員の育成に何が必要かを把握するための施策として活用されている。

他にも年に一度、当社全体で大規模な表彰式を開催しており、分野ごとに企業への貢献度が高かった従業員を表彰することで士気向上と組織活性化に繋がっている。

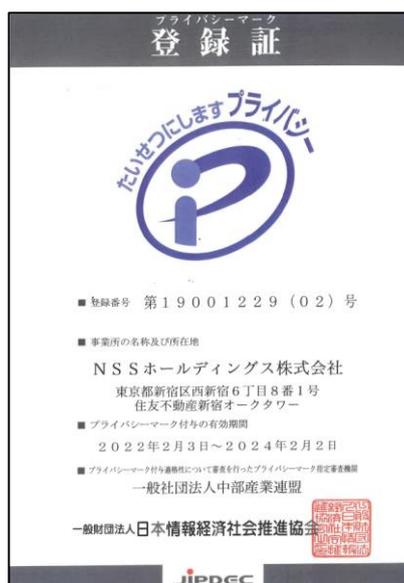
② 女性活躍



当グループ従業員の45%が女性であり、12名ほどは管理職として活躍している。

働きたい女性が個性と能力を十分に発揮できる企業として、要望に応じて活用できる柔軟な休暇制度や、働きやすくなるような社内設備を整え、性別・年齢等に左右されることのない適切で平等な企業文化が醸成されていることで、優秀な人材の確保や女性目線での業務の改善等に繋がっている。

③ 情報セキュリティ



当グループでは重要な顧客情報をしっかりと管理し守るための体制が整備されており、情報セキュリティに関する認証である「ISO27001」と「Pマーク」を取得している。

ISO27001とは、情報資産全般を審査対象として、ISMS（情報セキュリティマネジメント）の確立・実施・維持・継続的な改善が為されており、情報セキュリティのリスクアセスメントおよびリスク対応が実現していると認められた事業者が取得できる国際規格である。

一方、Pマークとは日本産業規格の要求事項に準拠した「プライバシーマークにおける個人情報保護マネジメントシステム構築・運用指針」に基づいて、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者として認められた場合に取得できる国内規格である。

これらの認証取得は、情報セキュリティに対して高いレベルでの組織体制が実現していることの証明だと言える。

④ 寄贈への取組



当グループでは、手数料の一部を地域の教育機関や地方公共団体、NPO 法人等に寄附・寄贈に充てるSDGs・寄贈型私募債を2023年4月に取り組んでおり、名古屋市立植田南小学校へミニジャンピングボード5個と折り畳みシート2個を贈呈した。

今後とも上記のようなCSR活動を通じて、地域社会の繁栄に積極的に貢献していく方針である。

4. インパクトの特定

① インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）によりNSSグループの各企業の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。各企業の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。NSSグループの事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上の事業活動についてはNSSグループが直接関与できないため次の事項を検討する。

ポジティブ面では川上の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和にNSSグループの事業が貢献できることがないか検討する。

ネガティブ面では川上の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

なお、川下の事業については、対象先が全ての企業となるため事業によるカテゴリ分析は行っていない。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

なお『雇用』に関するカテゴリについては、グループ全体としての検証を最後に行う。

② インパクト分布図

● N S S エネルギーソリューション株式会社

インパクトカテゴリ	川上の事業				同社事業	
	【 2740 】		【 4649 】		【 4759 】	
	電気照明器具製造業		その他の家庭用品卸売業		専門店による家庭用電気製品、家具、照明器具及びその他の家庭用品小売業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）						
食料						
住居					★	
健康・衛生			★			
教育						
雇用	★	★	★	★	★	★
エネルギー						
移動手段						
情報						
文化・伝統						
人格と人の安全保障						
正義						
強固な制度・平和・安定						
水（質）		★		★		
大気		★		★		
土壌		★				
生物多様性と生態系サービス				★		
資源効率・安全性		★				
気候		★		★		
廃棄物		★		★		★
包摂的で健全な経済	★				★	
経済収束						

LED照明をメーカー・卸売業者より仕入れ、顧客企業の導入支援を行う当社の事業において、川上事業および同社事業のインパクトカテゴリは上記の通りである。

その中で、同社事業に関係するポジティブインパクト（P I）としては『住居』『健康・衛生』『雇用』『包摂的で健全な経済』について確認できた。

顧客の要望に即して照明の導入を支援する当社の事業は、『住居』『健康・衛生』におけるP Iが認められる。また、インパクト分布図に示されてはいないが、LED照明の長寿命・省電力といった特長は『廃棄物』『気候』のP Iに貢献しており、当社の導入支援事業および生産・卸売を行う川上事業はこれらの拡大にも大きく貢献している。さらに、業種や規模等に関係なく要望のある全ての顧客企業に対して、平等に同社サービスを提供し、成長を支援している点は『包摂的で健全な経済』への寄与が認められる。

一方、ネガティブインパクト（N I）としては『雇用』『水（質）』『大気』『土壌』『生物多様性と生

態系サービス』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』が確認された。環境面のN Iについては、製品の輸送の際に排出される有害物質の影響が主な要因であるが、今後とも適切な仕入管理を行い輸送の効率化を進めていくことで縮小を図る。

●NSSマーケティング株式会社

インパクトカテゴリ	川上の事業		同社事業			
	【 6201 】		【 6201 】		【 7310 】	
	コンピュータ・プログラミング業		コンピュータ・プログラミング業		広告業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）						
食料						
住居						
健康・衛生						★
教育						
雇用	★	★	★	★	★★	★
エネルギー						
移動手段						
情報						★
文化・伝統						★
人格と人の安全保障		★		★		
正義						
強固な制度・平和・安定						
水（質）						
大気						
土壌						
生物多様性と生態系サービス						
資源効率・安全性						
気候						
廃棄物						★
包摂的で健全な経済	★		★			
経済収束						★

オウンドメディアの構築や店舗集客のコンサルティングを行う当社の事業において、川上事業および同社事業のインパクトカテゴリは上記の通りである。

顧客企業の情報を効率的に幅広く周知させる仕組みを構築し、集客はもちろんのこと人材採用に至るまでを支援する当社事業は、『雇用』『包摂的で健全な経済』のP I 拡大への寄与が認められた。

一方、N I としては『健康・衛生』『雇用』『情報』『文化・伝統』『人格と人の安全保障』『廃棄物』『経済収束』が確認された。情報を発信することによる個人情報流出や、偏見・固定観念を生み出すことへの懸念、不当な情報発信が主な要因と考えられるが、当社としてはISO27001やPマークを更新し続け、厳格な管理体制を維持するとともに、コンプライアンスに遵守した適正な情報発信が為されるようサービス提供を行い、上記N I 縮小を図っていく。

●NSSスマートコンサルティング株式会社

インパクトカテゴリ	川上の事業				同社事業	
	【 6201 】		【 7490 】		【 7490 】	
	コンピュータ・プログラミング業		他に分類されないその他の専門、科学及び技術サービス業		他に分類されないその他の専門、科学及び技術サービス業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）						
食料						
住居						
健康・衛生						
教育						
雇用	★	★	★★	★	★★	★
エネルギー						
移動手段						
情報						
文化・伝統						
人格と人の安全保障		★				
正義						
強固な制度・平和・安定						
水（質）						
大気						
土壌						
生物多様性と生態系サービス						
資源効率・安全性						
気候						
廃棄物				★		★
包摂的で健全な経済	★					
経済収束						

各種ISO認証取得と、労務関連整備を支援する当社の事業において、川上事業および同社事業のインパクトカテゴリは上記の通りである。

管理体制や労働環境をより良くしたいと考える顧客企業に対して情報の提供・整理を行い、可能な限りコストの抑制、助成金の活用支援を行う当社事業は、顧客企業の『雇用』『包摂的で健全な経済』に関するPI拡大へ大きく寄与していると考えられる。

一方、NIとしては『雇用』『人格と人の安全保障』『廃棄物』が確認された。川上事業のNIである『人格と人の安全保障』の要因として、情報の不適切な取扱いへの懸念が考えられるが、情報の取扱いに関する規定が入った契約書の締結や管理方法の把握を通して、NI緩和を図っている。

●NS Sライトプロモーション株式会社

インパクトカテゴリ	同社事業	
	【 8549 】	
	他に分類されないその他の教育	
	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）		
食料		
住居		
健康・衛生		
教育	★★	
雇用	★★	★
エネルギー		
移動手段		
情報		
文化・伝統		
人格と人の安全保障		
正義		
強固な制度・平和・安定		
水（質）		
大気		
土壌		
生物多様性と生態系サービス		
資源効率・安全性		
気候		★
廃棄物		★
包摂的で健全な経済		
経済収束		★

成長意欲ある企業・人材に対して、すべからく効果的な研修・セミナー開催の提供をすることで、誰もが専門的な情報・教育を享受でき、人材育成を支援する当社事業は『教育』『雇用』のP I拡大への寄与が大きく認められた。

一方、N Iとしては『雇用』『気候』『廃棄物』『経済収束』が確認された。人が集まる際に増加するCO2や廃棄物への懸念によるものであるが、一般的な節電や廃棄物削減の啓蒙活動によりN I縮小が可能である。

●全体の雇用のP I、N Iについて

他社に対して人材の育成や労働環境整備を支援してきた当グループにおいて、最重要の位置づけとして『雇用』への取り組みを行ってきた。

新人育成研修や勉強会の開催、ISOによる管理体制の整備、個人目標設定とフィードバックによる成長の促進、性別・年齢に左右されない能力・意欲の高い人材の管理職登用等、誰もが働きやすく、成長しやすい労働環境を作るための数々の施策をグループ全体として常に打ち出し、『雇用』に対するP I拡大を行っていくとともに、健康経営実現のために「健康診断の再受診率100%達成」をK P Iとして設定しN I縮小への貢献を進めていく。

5. 測定するKPI

① 環境負荷低減商材の普及

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブインパクトを拡大、環境面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「気候」「廃棄物」「包摂的で健全な経済」
関連するSDGs	 
対応方針	LED照明の普及拡大
KPI	・LEDの出荷本数を2028年度までに累積30,000本に増加させる (現状23,612本)

② 顧客企業の成長支援

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブインパクトを拡大、社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」「包摂的で健全な経済」
関連するSDGs	 
対応方針	顧客企業の雇用戦略の整備と企業価値向上支援
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・求人サイト作成件数を2028年度までに累積3,600件達成 ・ISO取得支援件数を2028年度までに累積1427件達成(105%成長目標)

③ 働きやすく成長しやすい職場づくり

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出 ・健康経営の実施 ・福利厚生強化のため企業型DCを導入するとともに、個人資産運用セミナー、勉強会、相談会の定期開催
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2028年度までに在籍雇用数を200名以上とする ・健康診断再受診の対象となった従業員の再受診率を2028年度までに現状16.6%から100%に引き上げる ・企業型DCを導入し、加入率を2028年度までに70%以上にする

6. インパクトの管理体制

NSSホールディングス株式会社は代表者を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び法人本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、代表者および管理責任者が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 米田 泰三
管理責任者	管理部 取締役 瀬田 怜司

7. モニタリング方法

NSSホールディングス株式会社に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年 1 回以上の協議を通して実施する。年 1 回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

NSSホールディングス株式会社の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。NSSホールディングス株式会社が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG 及びSDGs の観点からも十分な適合性を確認した。